

News release

平成 28 年 8 月吉日
日本ガス株式会社

植物工場事業参入について

日本ガス株式会社（本社 鹿児島市中央町 8 番地 2 代表取締役社長 津曲貞利）は、LNG（液化天然ガス）の冷熱を利用した完全人工光型植物工場を建設し、葉物野菜の栽培および販売を開始いたします。

弊社は都市ガスの原料である天然ガスを、オーストラリアなどの産ガス国から -162°C に冷却・液化した LNG として輸入しています。この LNG を気化させる時に発生する冷熱は、大手ガス事業者においては冷熱発電や冷凍倉庫に利用されています。今回、弊社が建設する植物工場は LNG 冷熱を栽培時の冷房に有効利用する仕様となっており、完全人工光型植物工場の課題とされる空調コストの低廉化を図っています。これまで LNG 冷熱を空調へ利用した植物工場の稼働実績は世界的にも例がなく、LNG 冷熱有効利用の新たな取り組みとなります。

また、この取り組みは経済産業省の平成 27 年度の「農商工連携等によるグローバルバリューチェーン構築事業」に採択され、地域新成長産業創出促進事業費補助金の適用を受けました（1 億円）。本補助事業は、農林水産物・食品の「生産」「加工」「流通」「販売」の流れで生じる課題を商工業の先端技術やノウハウを用いて解決する取組の支援を目的としています。

この補助事業を受け、弊社では鹿児島工場敷地内に LNG 冷熱利用型植物工場を建設し次の 3 つの特徴を持つ野菜の生産および販売を実現します。

①安心	衛生管理の行き届いた室内で栽培することで付着雑菌が抑えられ、日持ちする安心な野菜が栽培できます。
②安全	病原菌や害虫の侵入が無く農薬が必要ないため、無農薬の安全な野菜を栽培することができます。
③安定	異常気象や降灰の影響を受けないため、年間を通して安定した品質の野菜を安定した価格で提供することができます。

弊社は今後もエネルギーの供給だけでなく、お客さまの身近な企業として快適な暮らしのご提案ができるよう挑戦を続けて参ります。

以上

別紙①

【植物工場概要】

名称	植物工場（仮称）	
所在地	鹿児島市谷山港 3-3-5 日本ガス鹿児島工場内	
栽培品目	葉物野菜：リーフレタス類	
栽培規模	2,000 株/日	
操業開始	平成 28 年 12 月予定	
施設面積	約 900 m ²	
設備・投資額	設備額合計 (補助事業)	350,000 千円（見込 消費税抜） △100,000 千円（見込）
年間生産量(想定)	665,000 株	



グリーンリーフ



フリルレタス



レッドフリル